大阪経済の情勢(2024年10月指標を中心に)

「大阪経済は、持ち直しの動きに一服感がみられる」

需要面では、個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、新車販売台数は増加、家電販売額は減少。家計消費支出(近畿;9月)は増加。投資は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに減少。公共投資は増加。輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、アジア向け・中国向け・ASEAN向け・EU向けで増加。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、一進一退で推移している。大阪府(9月)は、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(9月)は上昇。全国の生産(10月)は上昇。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。雇用は、持ち直しの動きに一服感がみられる。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は上昇、新規求人倍率は低下。所定外労働時間(9月)は横ばい。

先行きでは、物価上昇等による経済への影響や、世界の経済・金融の動向について、引き続き注意が必要。

					需要	<u>- </u>			\longrightarrow
	総合					投資		貿易•観光	
	一致CI	大型小売店	コンビニ	家電販売	新車販売	新設住宅着	建築物着工	輸出	関空外国人
	(大阪)	販売(大阪)	販売(近畿)	(大阪)	(大阪)	工(大阪)	(大阪)	(近畿)	旅客
10月									
οП									

....

			供給_		\longrightarrow
	生産		倒産	雇	用
	生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍率(大阪)	失業率* (近畿)
10月	() 1,0 ()				
9月					

*前年同月と比較し、上向きの矢印は「景况改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。

●景気動向指数(CI)

大阪府(9月)では、一致CI、先行CIはともに上昇。大阪府(一 致CI)では、主に「生産財出荷指数」「有効求人倍率」が上昇 に寄与。



(資料) 大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」 *2020 年=100

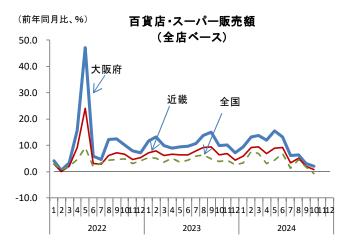
一致CIの個別系列の寄与度*(大阪府、9月速報)

	百貨店売場 面積当たり 販売額	大阪税関 管内輸入通 関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人 倍率	所定外労働 時間指数 (製造業)	
	▲0.33	▲0.44	0.48	1.38	0.42	0.72	0.02	

※CIの変化が、個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

●個人消費

個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、新車販売台数は増加、家電販売額は減少。 家計消費支出(近畿;9月)は増加。



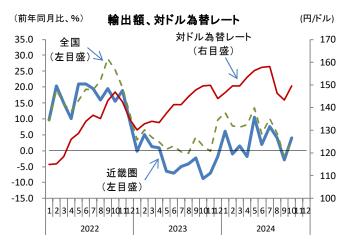
(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」

業態別の増減(大阪府、全店、前年同月比(%)、10月速報)

7	大型小売店 合計	2.2
うち	百貨店	3.7
	スーパー	0.5

●貿易

輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、アジア向け・中国向け・ASEAN向け・EU向けで増加。輸入額は増加。



(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

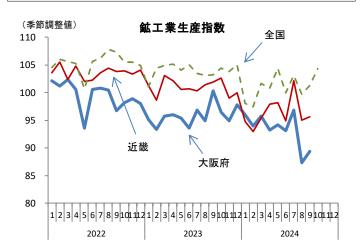
主要地域(国)別の増減(近畿、前年同月比(%)、10月速報)

アジア(含む中国)	4.7	8ヶ月連続の増加
中国	3.1	2ヶ月ぶりの増加
ASEAN	12.8	4ヶ月連続の増加
EU	1.1	5ヶ月ぶりの増加
アメリカ	▲0.5	5ヶ月連続の減少

(資料)大阪税関「近畿圏貿易概況・速報」

●生産

生産動向は、一進一退で推移している。大阪府(9月)では、 生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(9月)は上昇。全国の 生産(10月)は上昇。



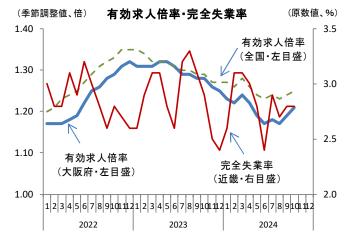
(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」※2020年=100。

産業別の主な変動(大阪府、前月比(%)、寄与度順、9月速報)

上	<u>化学工業 (30.6)</u> : 医薬品、合成アセトン				
昇	生産用機械工業 (2.6): 化学機械、ショベル系掘削機械				
低	輸送機械工業(▲17.8):鉄道車両部品、鉄道車両				
下	汎用・業務用機械工業 (▲4.6): 試験機、ポンプ				

●雇用

雇用は、持ち直しの動きに一服感がみられる。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は上昇、新規求人倍率は低下。所定外労働時間(9月)は横ばい。



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※近畿の完全失業率は原数値。

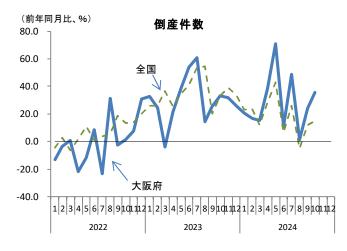
新規求人数の主要産業別増減(大阪府、前年同月比(%)、10月)

産業計	▲ 1.7
建設業	▲ 10.1
製造業	3.3
卸売業、小売業	▲ 5.8
宿泊業、飲食サービス業	▲ 11.9
医療、福祉	3.8

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

●倒産

企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

主な倒産(大阪府、10月)

エルロガエハハスババ・	0/1/
業種	負債額(百万円)
AV 家電製造販売	46,964
建築用金属製品卸	3,100
不動産管理	1,290
法律事務所経営	960